



なのみ通信

令和7年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 12月8日 第10号

自らチャレンジする子どもの育成

11月25日、6年生は、立命館アジア太平洋大学(APU)の留学生を招いて、英語でのコミュニケーション活動を行いました。留学生に日本や筑前町の文化を紹介している様子です。緊張しながらもジェスチャーを交えたり、実演したりしながら、学んだ「英語」で伝えることにチャレンジしました。



子どもたちの頑張りや成長を振り返る12月に…

12月に入り、中庭の銀杏の木もきれいに紅葉しました。名所の一つとなりそうな鮮やかな黄色一色の景色が、私たちの心を癒やしてくれます。一方、銀杏の木は、毎日たくさんの葉を落とし、そして、銀杏の実もたくさん落とします。多くの子どもたちが毎朝通る中庭です。毎朝、管理人さんが掃除をしてくれています。見上げた紅葉の美しさとともに、毎朝掃除をしてくれている人がいることへの感謝の心も膨らませて欲しいと思います。



さて、2学期も残すところ、後わずかになりました。10月の「東小田チャレンジ」を節目として、子どもたちは様々なことにチャレンジしています。授業前の朝の活動では、「計算力や読解力」をつけるために、週4日、プリント学習に取り組んでいます。取り組んだ全校児童のプリントを回収し、子どもたちに見える廊下に重ねています。毎回、積み上げていくプリントの高さを子どもたちの頑張りとして「見える化」する工夫を行っているところです。また、2学期は、修学旅行、林間学校、社会科見学、○○探検など、体験を通した学びや友だちと協力する学びをたくさん行なってきました。様々なことにチャレンジする学びは子どもたちの自己肯定感の向上につながり、友だちと協力する学びは、互いのことを理解し、他者と一緒に問題を解決する力につながると思っています。残り少なくなった2学期、子どもたちと一緒に頑張りや成長を振り返りたいと思います。

私たちが育てたお米、食に感謝し、おいしくいただきます！

5年生の子どもたちが収穫した稻を乾燥・脱穀し、白米にして学校に届けてくれました。種粒まきから田植え、そして稻刈りと、一年間米作りに取り組んできた子どもたちは、毎日食するご飯(米)に対する見方や考え方が大きく変わったのではないかと思います。「食」には必ず生産者がいて、その生産者の苦労や工夫のおかげで、私たちの「食」として、毎日の食卓にご飯が提供されています。その苦労や工夫を少しでも体験し学んだことは、生産者への感謝と食への感謝につながっていくものだと思います。

12月5日、ご飯のいい香りが校内に漂ってきました。お米を炊いている香りです。5年生の子どもたちは、自分たちが収穫したお米を「おにぎり」にしました。これまで大事に育ててきたお米、その米をご飯にして慎重ににぎる子どもたちの表情はとても素敵でした。食に感謝し、おいしくいただく米作りの取組は、子どもたちにとって貴重な学びになったと思います。一年間、ご指導いただいた、古賀さん、そして、田植え、稻刈り等にご協力いただきました保護者・地域の方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

なお、12月19日の給食の際には、5年生が育てた「なのみ米」を、全校児童にご飯として提供します。全校みんなで、食に感謝し、おいしくいただきたいと思います。また、12月19日には、5年生が収穫したお米(なのみ米)を販売します。数に限りがありますが、多くの方に食していただけたら幸いです。



【田植え 7/4】



【稻刈り 10/24】



【おにぎり作り 12/5】

PTA・地域の皆様 いつもありがとうございます！

11月16日に、学校の運動場でリサイクル活動を行いました。保護者・地域の皆様には、たくさんの資源物を持参していただきありがとうございました。なお、収益金については、今後の教育活動やPTA活動に還元していきたいと思います。特に、環境委員会の皆様には、朝早い時間から、誘導や仕分け等を行なっていただきました。スムーズに作業することができ、委員の皆様のご協力に大変感謝しています。ありがとうございました。

また、学級委員会では、「なのみ199号」作成、健康委員会では、給食試食会の実施(11/7)、環境委員会では、トイレ掃除(12/6)、地方委員会では、冬休み巡回パトロール等、11月～12月にかけて、実施・計画されています。PTA各委員の方々のご支援、ご協力に大変感謝しています。



【リサイクル活動 (11/16)】

いつもありがとうございます。